

吹田市各種健康診査特定保健指導及び特定保健指導利用勧奨業務

公募型プロポーザル審査基準

審査の項目	審査の視点	審査ポイント	配点
業務実績	自治体で実績	大阪府内での業務実績があるかどうか	20
		特定保健指導実施率(法定報告値)の向上につながる業務実績を十分に有しているか	
		統括責任者および担当者は、本業務を遂行するための業務経験を十分に有しているか	
実施体制・実施計画	人員配置の妥当性	必要十分な要員配置、管理体制となっているか	65
	従事する職員の質の向上のための取組み	従事する職員の教育体制を整えているか	
		従事する職員は一定の経験（特定保健指導に関する見識と経験を有するもの）、資格(医師、保健師、管理栄養士)を保有しているか	
	事故、非常災害時の取組み及び苦情対応体制	規定やマニュアルの内容に担当者の役割等が明確にされており、現実に対応可能であるか	
苦情、トラブル、事故や緊急時等に速やかに連絡が付き、対応ができるか 自然災害に対応する規定や安全管理体制を確保しているか			
個人情報保護及び守秘義務について	個人情報漏洩防止のために必要な措置を講じているか		
企画・実施	特定保健指導実施率及び完了率向上のための対策	対象者が関心をもち利用したい気持ちになる工夫があるか(利用案内ちらしの内容やインセンティブ付与の工夫等)	120
		対象者が利用しやすい工夫があるか(申込方法、実施日時や実施方法の設定等)	
	利用者のやる気を継続させ、途中で脱落させない工夫があるか(次回案内方法、プログラムや利用特典の工夫等)		
	積極的支援において、実績評価で体重2kg減、腹囲2cm減となるために工夫する取組みがあるか		
	対象者の健診結果や生活上の課題を踏まえ、個々の特性に合わせて生活習慣が改善できるような指導の工夫があるか(使用教材やアプリの活用等)		
	対象者に合わせ柔軟にICTが活用できる環境を整えているか		
	PHRを取り入れ、保健指導ができるか		
未利用者への勧奨方法	未利用者が関心をもち利用したい気持ちになる工夫があるか(未利用者への利用案内ちらしの内容や案内方法等)		
報告、効果検証等	検証、報告（実施効果や今後の課題について）	事業の効果検証及び課題の明確化の手法が適切であるか 得られた数値等から実施効果と今後の課題を分析し、市が活用しやすい形式で報告ができる	20
金額	見積金額		45
プレゼンテーション及びヒアリング	担当者の適応性及び業務に対する取組み意欲があるか	熱意、積極性、意欲、品格、礼節	30
		回答の的確さ	
		回答の説明の分かりやすさ・聞きやすさ	
		提案内容の実現性 全体の印象	